

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回所沢市市民医療センター運営委員会
開催日時	令和6年10月9日(水) 19時00分から20時15分まで
開催場所	保健センター 多目的ホール
出席者の氏名	赤津 拓彦、酒見 文人、石丸 由紀、田邊 浩一郎、小村 伸朗、辻村 信正、遠藤 里香、米川 智裕、織田 智美、齋藤 香代、平野 めぐみ、樺澤 延江、木下 和也
欠席者の氏名	下山 賢一郎、塩谷 彰浩
説明者の職・氏名	なし
議題	(1) 所沢市市民医療センター経営強化プラン令和5年度実施状況の点検・評価報告について (2) 所沢市市民医療センター再整備事業の進捗状況について(報告) (3) その他
会議資料	・ 次第 ・ 席次表 ・ 資料1 令和5年度実施状況点検・評価報告書(案) ・ 資料2 令和5年度実施状況点検・評価報告書について(答申)(案)
担当部課	出席者 センター長 黒木 康富、医務部長 東 賢治、事務部長 市川 勝也、総務課長 粕谷 憲之、総務課主幹 武政 直行、総務課主査 高橋 亘、総務課主査 都竹 一、総務課主査 吉野 由章、総務課主任 相馬 圭、総務課主事 梅澤 甘梨 電話 04-2992-1151 (市民医療センター事務部総務課)

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■開会 ■会議成立の報告 ■会議の公開・非公開の別 原則として全て公開 ■会議録の記載方法及び確認・署名 発言要旨を記録、発言者名記載せず、確認・署名は会長に一任 ■傍聴者の確認（1名） ■資料の確認 <p>議題（1）所沢市市民医療センター経営強化プラン令和5年度実施状況の点検・評価報告について 資料1 所沢市市民医療センター経営強化プラン及び資料2 令和5年度実施状況点検・評価報告書(案)に基づき説明。</p>
会長	<p>医療センターには、公的医療機関が行うべき対応を意識し、運営していただきたい。 資料1 令和5年度実施状況点検・評価報告書(案)について説明があったが、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>1点目、給与費対修正医業収益比率の評価区分がCとなっているが、Cの評価基準は「ある程度成果は出ているが、課題はある」となっている。目標を達成したとの記載があるためCではなく、Bの評価が正しいのではないか。 2点目として、意見欄の中で数値が低い方がよいものであるとの記載があるが、一概に低いほうが良いとは言えないため、記載方法を検討したほうが良い。収益が上がれば給与を上げることが一般的な考えであると考えられるため、検討が必要である。</p>
事務局	<p>1点目の、給与費対修正医業収益比率の評価区分については、各委員からの意見で最も多かったものを評価区分としてCとした。判断基準については、皆様の認識として目標値には達しているがまだ数値が高いと考える方が多かったためCの評価になったと考えている。 2点目の、数値が低い方がよいものであるとの記載については、給与費を抑えるということではなく、収益を上げることで給与費の比率を下げるという考えである。 職員の給与については条例で定められた金額となっているため、収益が上がったから給与を上げるということはできないが、表現については修正する。</p>
会長	<p>評価区分の定義から矛盾のないように願います。</p>
事務局	<p>評価区分の表現と実際の評価について相違があるという点について、Cとされている方が多かったということはそれだけこの評価区分について厳しい目を向けられているということである。評価区分がCであった点は尊重させていただき、評価基準・評価の視点の表現の仕方・記載方法について検討していきたい。</p>

	<p>例えば、目標を下回っているあるいは目標と近似値であるとするなどに記載を変更する。</p>
<p>会長</p>	<p>資料2 答申書について意見や、感想等をいただき、答申に加えるべき事項については、追記できるかを検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>再整備計画についての体制をどのように考えるかが重要となってくる。30年以上長く使われる建物であると考えられるため、スタッフ会議を行う上で、特に現場の方の意見を取り入れて計画を進めていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>特に配慮すべき事項について、現在の順番の示し方で良いのかどうか伺いたい。すべて「一」とされているが、一番目に記載する、最後に記載するかによって重要度が変わるように感じる。会長の意見をふまえると下に記載された二つが大事だと考えられるため、順番を検討していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今まで、知ることの出来なかった問題や医療センターが多くの取り組みをし、その運用が難しい部分について勉強することができた。</p>
<p>委員</p>	<p>公立病院として、市民が何を求めているかが根幹となってくる。成人・高齢者・子供を含めて、とにかく受け入れていただきたい。それが市民としての一番の願いである。設備・医師・医療スタッフの確保・病床と考えていくことが道筋として一番良い。市民が困ったときに最初に受け入れてくれる場所が市民医療センターであってほしい。そういった旨を根幹にもってきてそこから派生していろんな要望を出していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>特に配慮すべき事項としては今のままで良い 市民の立場としては、様々な予防接種の詳しい説明や人間ドックでバリウムの味に変化をつけていただくことが望ましい。</p>
<p>委員</p>	<p>小児初期救急が大切だと考える。近隣の公立病院では市民医療センターが唯一だと思われるため、小児初期救急を行っている旨をよりアピールしていくと良いのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>市民の方にとって一番大切となってくるのは、健康面である。市民医療センターがその部分に多く関わっており、非常に大切な位置付けだと考えられる。今後も様々な形で健康面を支え、努力していただきたい。こういった会議に参加することで、今まで見えていなかった背景や根拠になることを勉強できた。出席されている方だけでなく、同様の内容を別の形で市民の方へ情報提供できるようにしていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>市民病院であるため、所沢市民の要望を第一に受け止め、充実していただきたいが、一つの病院では完結することができない部分もあるため、機能を明確にし、周辺の機関と協力しながら医療を充実させていただきたい。</p>

委員	<p>特に配慮すべき事項について、人によってどれが大切かというのは難しいため、同列に扱うのが良い。一つ加えるとすれば、新型コロナウイルスの際の市民医療センターの初期対応は、かなり遅れた。発熱外来や予防接種等対応していたが、今後感染症があった際には前面に立ってやっていただきたい。「新興感染症に対する、対策・備えを徹底してください」という文言を追記しても良いのではないか。</p>
委員	<p>災害時、現場では、薬が本当に不足しており各薬局が混乱する。市民医療センターとして、新興感染症・災害時にそなえた薬の備蓄に力を入れていただきたい。</p>
委員	<p>小児夜間から、オーバーナイトで様子を見る体制を作ると話があったが、現時点で深夜の終了時間と次の日の診療が始まるまでに1時間程度空いている。そのため、申し送りを行う時間が無い。そういった時間帯のカバーをしていかなければ、実現は厳しい。</p> <p>北秋津に夜9時まで診療を行っている小児科がある。医療センターの小児夜間では、夜は検査キットを使用した検査を行っていない。そちらのクリニックでは、営業時間内であれば検査やワクチンを行うことができるため、今後準夜帯の需要が減っていくのではないか。ワクチンや検査についての対応を考えていくべきである。9月に入ってから準夜帯の患者数が実際に減っている。準夜帯の存続や時間帯について、より検討したほうが良いのではないか。</p>
委員	<p>災害時の拠点として活動するため、取り組みを検討していただきたい。また、予防医学についても、検討していただきたい。</p>
会長	<p>委員の皆様の意見より、特に配慮すべき事項について追加すべき項目が2つあると考えられる。新興感染症に対しての対応・災害時の対応を行う旨の記載があっても良いのではないか。</p> <p>例えば、新興感染症や災害に対応できるような再整備計画の策定に努めてください。という文言を追加すると良い。</p>
事務局	<p>指摘のあった項目を追加し、記載順を変更する。</p>
事務局	<p>議題2（2）所沢市市民医療センター再整備事業の進捗状況について（報告） 配布資料無し、進捗状況について説明</p>
委員	<p>意見無し</p>
事務局	<p>議題（3）その他 令和6年度運営委員会は、本会議にて終了となる。 審議いただいた、答申書と経営強化プラン令和5年度点検評価報告書について、修正し市長へ提出する。</p>

	閉会の挨拶	以上
--	-------	----